



学問の神様である菅原道真が祀られ、大宰府天満宮、北野天満宮とともに日本の三菅廟といわれています。建築にあたったのは紀州根来出身の平内吉政・政信親子。後に政信は江戸幕府の作事方大棟梁になった当代屈指の工匠です。楼門は一間楼門として最大規模。本殿は国重要文化財で、内外部ともに美しい極彩色が施されています。

延喜元年(901年)に菅原道真が大宰府に向かう途中、海上の風波を避けるために和歌浦に船を停泊した。その時、神社が鎮座する天神山から和歌の浦を望み、2首の歌を詠んだ。その後、村上天皇の康保年間(964 - 968年)に参議橘直幹が大宰府から帰京する途中に和歌浦へ立ち寄り、この地に神殿を建て道真の神霊を勧進して祀ったのが始まりとされる。また、道真が立ち寄った際に、敷物がなく、漁師が船の鱸綱を敷物(円座)にして迎えたといい、綱敷天神とも称せられるという。天満宮は和歌浦天神山(標高約93m)の中腹に位置し、菅原道真を祀り、和歌浦一円の氏神として尊崇されている。

なお漁師が船の鱸綱を円座にして道真を迎えた故事は神戸市須磨区の綱敷天満宮にも伝わっている。明石海峡に近い須磨と紀淡海峡に近い和歌浦の双方を道真の一行が訪れたとは考えにくい、いずれが道真一行の取ったルートであったかははっきりしない。

全国に天満宮と称する神社は数多くあるが、江戸時代の朱子学者で、徳川家康のブレーンも勤めた林羅山は、元和7年(1621年)、この地を訪れ、和歌浦天満宮は太宰府天満宮、北野天満宮と共に由緒がある神社であると言っている。社殿は、豊臣秀吉の天正13年(1585年)の兵火の後、桑山重晴、浅野幸長により再建された。浅野幸長は、慶長9年(1604年)～同11年(1606年)にかけて天神山の中腹を開墾して社地を造成し、本殿、唐門、拝殿、楼門、東西廻廊などを再建したが、これが現存する天満神社である。本殿奥や楼門前面の石垣も、この時造られたものである。再建された本殿、楼門など4棟が重要文化財に指定されている。本殿は桁行五間・梁間二間の入母屋造で、装飾性の豊かな桃山建築である。正面の楼門は一間一戸門としては最大級で、禅宗様を取り入れている。本殿、楼門等の建築や彫刻には、江戸幕府御大棟梁の平内政信(へいのうちまさのぶ)関わった。



0001\_和歌浦天満宮



0002\_和歌浦天満宮



0003\_和歌浦天満宮



0004\_和歌浦天満宮



0005\_和歌浦天満宮



0006\_和歌浦天満宮



0007\_和歌浦天満宮



0008\_和歌浦天満宮



0009\_和歌浦天満宮



0010\_和歌浦天満宮



0011\_和歌浦天満宮



0012\_和歌浦天満宮



0013\_和歌浦天満宮



0014\_和歌浦天満宮



0015\_和歌浦天満宮



0016\_和歌浦天満宮



0017\_和歌浦天満宮



0018\_和歌浦天満宮



0019\_和歌浦天満宮



0020\_和歌浦天満宮



0021\_和歌浦天満宮



0022\_和歌浦天満宮



0023\_和歌浦天満宮



0024\_和歌浦天満宮



0025\_和歌浦天満宮



0026\_和歌浦天満宮



0027\_和歌浦天満宮



0028\_和歌浦天満宮



0029\_和歌浦天満宮



0030\_和歌浦天満宮



0031\_和歌浦天満宮



0032\_和歌浦天満宮



0033\_和歌浦天満宮



0034\_和歌浦天満宮



0035\_和歌浦天満宮



0036\_和歌浦天満宮



0037\_和歌浦天満宮



0038\_和歌浦天満宮



0039\_和歌浦天満宮



0040\_和歌浦天満宮



0041\_和歌浦天満宮



0042\_和歌浦天満宮



0043\_和歌浦天満宮



0044\_和歌浦天満宮



0045\_和歌浦天満宮



0046\_和歌浦天満宮



0047\_和歌浦天満宮



0048\_和歌浦天満宮



0049\_和歌浦天満宮



0050\_和歌浦天満宮



0051\_和歌浦天満宮



0052\_和歌浦天満宮



0053\_和歌浦天満宮



0054\_和歌浦天満宮



0055\_和歌浦天満宮



0056\_和歌浦天満宮



0057\_和歌浦天満宮



0058\_和歌浦天満宮



0059\_和歌浦天満宮



0060\_和歌浦天満宮



0061\_和歌浦天満宮



0062\_和歌浦天満宮



0063\_和歌浦天満宮



0064\_和歌浦天満宮



0065\_和歌浦天満宮



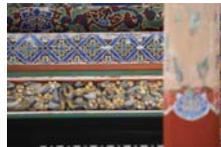
0066\_和歌浦天満宮



0067\_和歌浦天満宮



0068\_和歌浦天満宮



0069\_和歌浦天満宮



0070\_和歌浦天満宮



0071\_和歌浦天満宮



0072\_和歌浦天満宮



0073\_和歌浦天満宮



0074\_和歌浦天満宮



0075\_和歌浦天満宮



0076\_和歌浦天満宮